



さいたま桜高等学園

進路だより

令和2年2月10日(月)第19号



卒業後の進路

さいたま桜を卒業したら、どんな進路があるのでしょうか。卒業後の進路の選択肢を知り、卒業時に自分に一番合った進路先を選びましょう。今週から始まる進路報告会の参考にぜひ一読ください。

1 会社に就職して働く

*手帳を使った『障害者雇用』です

2 就職のための勉強を続ける

①学校（訓練校、能力開発校など）→ 就職

②移行支援事業所 → 就職

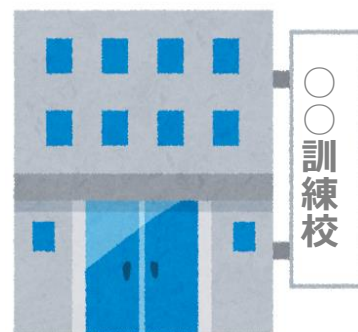


さいたま桜では右の図1のように現場実習において3年間で4つのステージを順にステップアップしながら就職先を決めていきます。3年間で“定着ステージ”まで終わったら、上記の「1 会社に就職して働く」となります。

もし、経験ステージ、志望ステージなどの途中で卒業となった場合は、訓練校や移行支援授業所等に進んでその続きの勉強をします。その場合は、上記の「2 就職のための勉強を続ける」を選ぶことになります。例え1~2年就職が先になっても、4つのステージを着実に歩いて就職を決めていくことが、適性就労には不可欠です。

そして、「2 就職のための勉強を続ける」を選んでも**目標は“就職”**です。下の表はH27~29年度卒業生の「2 就職のための勉強を続ける」を選んだ人数です。就労移行A型とチームぴかぴか（県非常勤職員）は雇用契約を結びますが、一般就労を目指した活動をするので、さいたま桜では「2」に含めています。

	訓練校・移行支援等	A型・チームぴかぴか	合計	現就労者数
H27年度	6	4	10	6
H28年度	11	2	13	8
H29年度	5	4	9	3



8年前から日本では、就労移行支援などの福祉的就労を経て就職する人の割合が特別支援学校を卒業後すぐに就職する人より多くなり、現在は約2倍（H29年度 14,845人）となっているそうです。

私たちが目指すのは「働き続けること」 適性就労100% の実現のために、今、自分はどのステージかを把握し、今の自分に一番合った進路先を選ぶことが大切です。